

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	YMCAきぼう		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 21日	～	2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 28	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年2月15日	～	2025年3月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日		
○ 分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日は西公園、長期休暇では野外活動・自然体験・体験活動を多く取り入れ、野外炊飯や川遊び、ハイキング、公共交通機関での移動や公共施設の利用も行っている	野外活動、自然体験、体験活動が子どもたちの成長にとっても重要だと考えているため多く取り入れている 社会福祉法人仙台YMCA福祉会が野外保育場「めぐみのもりからふる」を整備したため、そこでの活動も取り入れ、自然体験、野外活動の幅を上げられている	夏の暑さやクマ出没などを踏まえ、室内や屋内施設での活動を充実していく
2	YMCAみらい(小学部)が隣接しており、メンバーの情報共有を行い、スムーズに移行できるようにしている ポップクラブ(民間の学童保育施設)が隣接しており、行事等と一緒に行動等交流を図っている YMCAとしての行事に参加できる	日々の活動の中で、西公園で一緒に遊ぶ他、長期休暇中の行事(お祭り)と一緒に活動をしている	このような活動をしていることを周知できていないので、周知していく 全体への広報と、利用者へ個別にも声かけをしていく
3	メンバーの意思決定を大切に、活動内容の検討の際にメンバーの意見を取り入れている	年度末や長期休暇の前に、メンバーからプログラム案の提案を受け立案している 今年度は、直接の聞き取りの他、夏休み前は2か月前に紙面でも聞き取りができるようにした	クッキングの内容や外出活動の場所などのレパートリーが増えるように、意思決定を大切にしながら活動案の立案を行っていく
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が狭い、トイレが1つしかない、バリアフリーではないこと	借用物件の為に限られたスペースでの過ごしとなる	室内ではパーテーションの利用や、椅子・机を使用しスペースを区切りながら活用して活動を行うのは継続していく
2	小学部のYMCAみらいや、民間学童のポップクラブなどの交流をしているが、保護者へ取り組みが伝わっていないことがある	避難訓練や放課後児童クラブとの交流を行っていたり、YMCA全体の行事も伝えているが、保護者の方にわかりやすく伝わっていない	ニュースレター・SNSで情報を発信する 必要な方には個別に情報を伝えていく